

機械設備調査表 様式第 1 - ①

様式第 1 - ①

機 械 設 備 調 査 表

	※ 1	※ 2	※ 3	※ 4
	機械設備の所在地	神奈川県横浜市○○区○○丁目○番地○	調 査 年 月 日	平成 3 0 年 ○ 月 ○ 日
	調 査 者	麹町 次郎	整理番号	2
※ 5	機械設備の所有者の氏名又は名称	○○プレス工業株式会社	※ 6	機械設備所有者の住所又は主たる事業所の所在地
		東京都千代田区麹町○丁目○番○○	※ 7	業種区分(産業分類)
		金属プレス製品製造業(2552)		
※ 8	製造(加工)工程	(当該工場における製品等の製造、加工又は販売等の工程及び建物等の配置との関係が複雑な場合は、製造、加工等行う製品ごとに第10条の「製造工程図」及び第11条の「動線配置図」を作成する。) 材料の受け入れ ⇒ 材料ヤード・切断加工 ⇒ プレス加工 ⇒ 穴あけ・ネジ切加工 ⇒ 検査・出荷 ① 当該工場は、家庭用電化製品のプレス部品を製造する工場であり、製品は、少量多品種ですべて受注生産している。 ② 設置されている機械設備は、主として切断機、プレス等の鍛圧機械であり、その他、工作機械等が存している。 ③ 工場内における原材料、仕掛品及び製品等の移動は、専用のコンテナに入れ、天井走行クレーンを用い行われている。		
※ 9	稼 動 状 況 等	① 調査時点において、すべての機械設備が正常に稼動しており、特に休止している機器等はない。 ② 当該工場における通常の作業時間は、AM 8:30～ PM 5:00 であり、繁忙時は、時間外勤務により対応している。		
※ 10	法 令 の 適 合 性 等	① 騒音及び振動規制法 ; 法に定める特定施設(機械プレス、圧縮機)が設置されており、法令に適合している。 ② 消 防 法 ; 消防法(危険物の規制)の規制を受ける機械設備はない。 ③ 工場立地法 ; 法に定める特定工場(敷地面積: 9,000㎡以上、建築面積: 3,000㎡以上)には、該当しない。 ④ 建築基準法 ; 準工業地域に存しており、建築基準法に定める用途地域内の建築制限に適合する。		
※ 11	そ の 他	① 当該工場に存する機械設備には、リース契約に基づく機器等はない。		

機械設備調査表 様式第 1 - ①

番号	チェック項目	チェック内容		備 考
※ 1	機械設備の所在地	☐	機械設備が存する所在地は適切か。 (図面表記内容、その他作成調書、公的書類等と一致しているか。)	
※ 2	調査年月日	☐	調査年月日に誤りはないか。 (図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 3	調査者	☐	調査者に誤りはないか。 (図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 4	整理番号	☐	整理番号に誤りはないか。 (図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 5	所有者氏名又は名称	☐	所有者氏名又は名称に誤りはないか。 (図面表記内容、その他作成調書、公的書類等と一致しているか。)	
※ 6	所有者の住所又は 主事業所所在地	☐	住所又は所在地に誤りはないか。 (図面表記内容、その他作成調書、公的書類等と一致しているか。)	
※ 7	業種区分 (産業分類)	☐	業種区分は、機械設備調査算定要領 別表 1 機械設備標準耐用年数表の区分で適切に認定されているか。(その他作成調書等と一致しているか。)	
		☐	産業分類は、日本標準産業分類で適切に認定されているか。	
※ 8	製造(加工)工程	☐	当該工場の製造(加工)工程の概要が分かり易くまとめられているか。 (工程が複雑な場合は、製造工程図又は動線配置図等を作成し、整理されているか。)	
※ 9	稼働状況等	☐	調査時点の稼働状況等が分かり易くまとめられているか。 (休眠設備の有無、稼働日及び時間、繁忙期、その他特筆事項が整理されているか。)	
※10	法令の適合性等	☐	当該工場に係る諸法令等が調査され、法令毎に状況がまとめられているか。 (騒音及び振動規制法、消防法、工場立地法、建築基準法、都市計画法等の該当性及び適合性等)	
※11	その他	☐	その他、当該工場に係る特筆事項等がまとめられているか。 (リース機器の有無、別所有者保有機器の有無等)	

機械設備調査表 様式第1-②

様式第1-②

※1	※2	※3	※4	※5	機 械 設 備 調 査 表		※7	※8	※9	※10	※11
番号	機 械 名	数量	取得年月	仕 様		※6 製造所名等	形状・寸法 (m) (W ・ L ・ H)	質量 (t)	基礎寸法・設置状況 (W ・ L ・ H)	復元の 可否	備 考
				型 式 ・ 能 力	出力						
1	スケーヤシャー	1	2004 / 6	200型 1.2mm×1360mm 2次側電気配線を含む	1.50Kw	〇〇鉄工(株)	2.30 × 1.20 × 1.40	3.20	2.50×1.30×0.30 M-12×300L×4本 車輪付	可・否	
2	高速砥石切断機	1	2006 / 8	FS-R8 455x25.4 2次側電気配線を含む	3.70Kw	〇〇製砥(株)	0.45 × 0.70 × 0.80	0.16	-	可・否	
3	スポット溶接機	1	2007 / 12	SUH-7 400x140 定格:18.5KVA 加圧:60Kg 2次側電気配線を含む	10.50Kw	〇〇電気工業(株)	0.60 × 0.80 × 1.80	0.30	H-12×100L×4本	可・否	
4	直立ボール盤	1	1998 / 8	AUD-550 穴あけ:40φmm 振り:550mm 2次側電気配線を含む	1.50Kw	(株)〇〇鉄工所	0.70 × 1.10 × 2.20	0.70	H-12×100L×4本	可・否	
5	パワープレス	1	1998 / 8	F P-30 能力:30 t ストローク:100mm 2次側電気配線を含む	1.50Kw	(株)〇プレス製作所	0.90 × 1.30 × 2.00	2.00	1.00×1.40×0.50 M-16×400L×4本	可・否	
6	パワープレス	1	1998 / 8	F P-50 能力:50 t ストローク:127mm 2次側電気配線を含む	3.70Kw	(株)〇プレス製作所	1.10 × 1.60 × 2.20	3.30	1.10×1.70×0.50 M-16×400L×4本	可・否	
7	パワープレス	1	2004 / 7	F P-100 能力:100 t ストローク:200mm 2次側電気配線を含む	5.50Kw	(株)〇プレス製作所	1.20 × 1.80 × 2.60	4.50	1.30×2.00×0.50 M-16×400L×4本	可・否	
8	パワープレス	1	2007 / 4	C型 能力:20 t on 2次側電気配線を含む	1.50Kw	〇〇プレス(株)	0.80 × 1.20 × 2.00	1.50	0.90×1.30×0.50 M-16×400L×4本	可・否	
9	パワープレス	1	2007 / 9	OY-10040 能力:40 t on 2次側電気配線を含む	2.20Kw	-	1.00 × 1.30 × 2.20	2.80	1.00×1.30×0.50 M-16×400L×4本	可・否	
10	天井走行クレーン	1	2004 / 12	1ton吊 6点操作 長さ:8m 走行:10m 揚程:4m 2次側電気配線を含む	3.05Kw	〇〇ホイスト(株)	1.20 × 8.20 × 0.60	1.80	-	可・否	
11	空気圧縮機	1	2007 / 11	エアマン スクリューコンプレッサー 0.83~0.64MPa 0.72m3/min 2次側電気配線を含む	5.50Kw	〇〇工業(株)	0.80 × 0.60 × 1.10	0.24	H-12×100L×4本	可・否	
12	空気圧縮機	1	2007 / 11	ベビコン TFD15-10 0.8~1.0MPa 160L/min 2次側電気配線を含む	1.50Kw	(株)〇〇空気機械	1.10 × 0.35 × 0.80	0.16	-	可・否	
13	交流アーク溶接機	1	2010 / 5	B-300 24.5KVA 定格電流:300A 2次側電気配線を含む	14.00Kw	〇〇電気(株)	0.35 × 0.50 × 0.60	0.06	-	可・否	
14	コンターマシン	1	2008 / 4	NCC-400 400x250 15~90m/min 2次側電気配線を含む	0.75Kw	-	1.15 × 0.90 × 1.90	0.65	H-12×100L×4本	可・否	
15	フライス盤	1	2004 / 7	2ML テーブル:1350×300 ひざ形立て軸形 2次側電気配線等を含む	5.50Kw	(株)〇〇精機	0.60 × 1.20 × 1.50	5.00	H-12×100L×4本	可・否	
16	シャーリングマシン	1	2005 / 8	C-512 4.5mm×1270mm 2次側電気配線等を含む	2.20Kw	〇〇鉄工所(株)	2.20 × 0.90 × 1.20	2.40	2.40×1.00×0.30 M-12×300L×4本	可・否	
17	平面研削盤	1	2003 / 9	MSG-250 2次側電気配線を含む	0.75Kw	(株)〇〇機械製作所	1.40 × 0.90 × 1.70	0.65	1.40×1.00×0.30 M-12×300L×4本	可・否	
18	普通旋盤	1	2004 / 8	振り:300φmm 心門1000mm 2次側電気配線を含む	3.70Kw	〇〇鉄工(株)	2.20 × 0.60 × 1.30	2.00	2.40×0.80×0.30 M-12×300L×4本	可・否	
19	高圧受変電設備	1	1998 / 8	6600V受電 キュービクル形 動力Tr:100KVA 電灯Tr:50KVA	...	-	2.20 × 1.10 × 1.80	0.80	2.40×1.30×0.30 M-12×300L×4本	可・否	
20	動力配線設備	1	1998 / 8	三相3線式 200V	...	-	×	×		可・否	
21	空気配管設備	1	1998 / 8		...	-	×	×		可・否	

機械設備調査表 様式第 1 - ②

番号	チェック項目	チェック内容		備 考
※ 1	番号	☐	機械番号に誤りはないか。（図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。）	
※ 2	機械名	☐	機械名に誤りはないか。（図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。）	
※ 3	数量	☐	数量に誤りはないか。（図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。）	
※ 4	取得年月	☐	取得年月に誤りはないか。 （図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。） （減価償却資産台帳等、根拠資料と整合しているか。） （根拠資料等がない場合、認定根拠が明示されているか。また当該根拠は妥当か。）	補償率に影響
※ 5	仕様	☐	型式・能力、出力等に誤りはないか。 （図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。） （銘板写真、カタログ、取扱い説明書等、根拠資料と整合しているか。） （根拠資料等がない場合、認定根拠が明示されているか、また当該根拠は妥当か。）	
※ 6	製造所名等	☐	製造所名等に誤りはないか。 （図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。） （銘板写真、カタログ、取扱い説明書等、根拠資料と整合しているか。） （根拠資料等がない場合、認定根拠が明示されているか、また当該根拠は妥当か。）	
※ 7	形状・寸法	☐	形状・寸法に誤りはないか。（図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。）	運搬費に影響
※ 8	質量	☐	質量に誤りはないか。 （図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。） （銘板写真、カタログ、取扱い説明書等、根拠資料と整合しているか。） （根拠資料等がない場合、認定根拠が明示されているか、また当該根拠は妥当か。）	運搬費に影響
※ 9	基礎寸法・設置状況	☐	基礎の有無、寸法、設置状況等に誤りはないか。 （図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。） （施工図、竣工図等、根拠資料と整合しているか。） （根拠資料等がない場合、認定根拠が明示されているか、また当該根拠は妥当か。）	
※10	復元の可否	☐	復元の可否判断に誤りはないか（特に否の場合、客観的に妥当か。）	
※11	備考	☐	その他、特筆事項が表記されているか。	

機械設備算定内訳書（総括表） 様式第2

様式第2

機 械 設 備 算 定 内 訳 書 （総括表）

※1 整理番号 : 2
※2 所有者氏名 : ○○プレス工業株式会社
※3 所在地 : 神奈川県横浜市○○区○○丁目○番地○

工 法 : 復元工法（一部再築）
業種区分 : 金属プレス製品製造業
算定年月 : 平成30年4月

※4
※5
※6

復元費又は再築費 計 (C)		撤去費 計 (D)		廃材運搬費 (E)		計 C+D+E = (F)		消費税等相当額 F × 税率 = (G)		廃材処分費 (H)		売却価格 (I)		補 償 額 F + G + H - I			
												スクラップ 価格		中古品売却価格			
※16	10, 163, 902	※17	5, 340, 053	※18	100, 000	※19	15, 603, 955	※20	-	※21	18, 320	※22	15, 225	※23	308, 000	※24	15, 299, 050
番号	※ 8 機 械 名	※ 9 数量	※ 10 機 器 別 移転工法	※ 11 復元工事費又は 再築工事費 (A)	※12 再築補償率			※ 13 復元費又は再築費 A又は A×B=(C)	※ 14 撤去費 (D)	※ 15 備 考							
					経過年数 (年)	標準耐用年数 (年)	補償率 (B)										
1	スケヤーシャー	1	復元	779, 044				779, 044	453, 745								
2	高速砥石切断機	1	復元	34, 414				34, 414	19, 934								
3	スポット溶接機	1	復元	112, 229				112, 229	65, 666								
4	直立ボール盤	1	復元	214, 717				214, 717	127, 130								
5	パワープレス	1	再築	2, 087, 462	20	26	42. 4	885, 083	285, 854								
6	パワープレス	1	復元	786, 557				786, 557	458, 220								
7	パワープレス	1	復元	1, 003, 992				1, 003, 992	584, 962								
8	パワープレス	1	復元	436, 363				436, 363	252, 908								
9	パワープレス	1	復元	682, 439				682, 439	397, 431								
10	天井走行クレーン	1	復元	1, 182, 356				1, 182, 356	659, 466								
11	空気圧縮機	1	復元	47, 146				47, 146	27, 580								
12	空気圧縮機	1	復元	34, 182				34, 182	19, 934								
13	交流アーク溶接機	1	復元	17, 006				17, 006	8, 944								
14	コンターマシン	1	復元	202, 254				202, 254	119, 214								
15	フライス盤	1	復元	990, 827				990, 827	583, 864								
16	シャーリングマシン	1	復元	622, 511				622, 511	361, 987								
17	平面研削盤	1	復元	242, 902				242, 902	139, 114								
18	普通旋盤	1	復元	539, 527				539, 527	313, 145								
19	高圧受変電設備	1	復元	293, 207				293, 207	144, 964								
20	動力配線設備	1	再築	1, 820, 835	20	26	42. 4	772, 034	220, 680								
21	空気配管設備	1	再築	672, 434	20	26	42. 4	285, 112	95, 311								
小 計				(12, 802, 404)				(10, 163, 902)	(5, 340, 053)								
合 計				12, 802, 404				10, 163, 902	5, 340, 053								

機械設備算定内訳書（総括表） 様式第2

番号	チェック項目	チェック内容		備考
※1	整理番号	☐	整理番号に誤りはないか。（図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。）	
※2	所有者氏名	☐	所有者氏名又は名称に誤りはないか。（図面表記内容、その他作成調書、公的書類等と一致しているか。）	
※3	所在地	☐	機械設備が存する所在地は適切か。（図面表記内容、その他作成調書、公的書類等と一致しているか。）	
※4	工法	☐	算定工法に誤りはないか。（復元、再築、除却等、その他作成調書等と一致しているか。）	
※5	業種区分	☐	業種区分は、機械設備調査算定要領 別表1 機械設備標準耐用年数表の区分で適切に認定されているか。（その他作成調書等と一致しているか。）	
※6	算定年月	☐	算定年月に誤りはないか。（実算定年月、算定年度4月固定等）	経過年数の基準日
※7	番号	☐	機械番号に誤りはないか。（図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。）	
※8	機械名	☐	機械名に誤りはないか。（図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。）	
※9	数量	☐	数量に誤りはないか。（図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。）	
※10	機器別移転工法	☐	算定工法に誤りはないか。（復元、再築、除却等、その他作成調書等と一致しているか。）	
※11	復元工事費又は再築工事費	☐	復元工事費・再築工事費に誤りはないか。 （機械設備算定内訳書（復元工事費又は再築工事費）から正しく計上されているか。）	
※12	再築補償率 （再築工法のみ）	☐	経過年数に誤りはないか。（6ヶ月以上は切上、6ヶ月未満は切捨てとなっているか。）	
		☐	標準耐用年数に誤りはないか。（業種区分に対応した年数となっているか。）	
		☐	補償率に誤りはないか。（算出式は適正か。）	
※13	復元費又は再築費	☐	各費用に誤りはないか。（数量×各工事費×補償率(再築工法のみ)となっているか。）	
※14	撤去費	☐	撤去費に誤りはないか。 （機械設備算定内訳書（撤去費）から正しく計上されているか。）	
※15	備考	☐	その他、特筆事項が表記されているか。	
※16	復元費又は再築費 計	☐	復元費又は再築費 計に誤りはないか。（復元費又は再築費欄の合計値となっているか。）	
※17	撤去費 計	☐	撤去費 計に誤りはないか。（撤去費欄の合計値となっているか。）	
※18	廃材運搬費	☐	廃材運搬費に誤りはないか。（ 廃材運搬費計算書等 で算出した廃材運搬費が反映されているか。）	建物との合算無し
※19	計	☐	復元費又は再築費 計 と 撤去費 計 と 廃材運搬費 の合計値となっているか。	

機械設備算定内訳書（総括表） 様式第2

番号	チェック項目	チェック内容		備 考
※20	消費税等相当額	☐	消費税等相当額に誤りはないか。 （消費税調査で判定した内容（補償の要否、補償税率）となっているか。）	
※21	廃材処分費	☐	廃材処分費に誤りはないか。（ 廃材処分費計算書等 で算出した廃材処分費が反映されているか。）	建物との合算無し
※22	売却価格	☐	スクラップ 価格に誤りはないか。（ スクラップ 算出書等 で算出したスクラップ 価格が反映されているか。）	建物との合算無し
※23		☐	中古品売却価格に誤りはないか。（ 売却価格算出書等 で算出した売却価格が反映されているか。）	建物との合算無し
※24	補償額	☐	計 と 消費税等相当額 と 廃材処分費 の合計値から 売却価格 が控除されているか。	

機械設備算定内訳書（復元工事費又は再築工事費） 様式第3

様式第3

機 械 設 備 算 定 内 訳 書（復元工事費又は再築工事費）

〔復元工法（一部再築）〕

※14 ※15 ※16 ※17

※1 番号	※2 機 械 名	数量 ※3 (A)	機器別 移転 工法 ※4	直接工事費		共通仮設費 ※7 $C \times 10.25\%$ (D)	純工事費 ※8 $C + D$ (E)	据付間接費		現場管理費 ※11 $E \times 28.83\%$ (H)	工事原価 ※12 $E + G + H$ (I)	一般管理費等 ※13 $I \times 15.29\%$ (J)	機器等購入費 ※14 購入費 単価 (K)	計 ※15 $A \times K$ (L)	復元工事費又は 再築工事費 ※16 $I + J + L$ (M)	備考 ※17
				機械別 工事費 (B) ※5	計 $A \times B$ (C) ※6			設備機械工 A×据付労務費 (F) ※9	計 $F \times 130\%$ (G) ※10							
1	スケヤーシャー	1	復元	304,344	304,344	31,100	335,444	187,440	243,600	96,700	675,744	103,300	-	-	779,044	
2	高速砥石切断機	1	復元	12,814	12,814	1,300	14,114	9,152	11,800	4,000	29,914	4,500	-	-	34,414	
3	スポット溶接機	1	復元	41,329	41,329	4,200	45,529	29,920	38,800	13,100	97,429	14,800	-	-	112,229	
4	直立ボール盤	1	復元	78,417	78,417	8,000	86,417	57,728	75,000	24,900	186,317	28,400	-	-	214,717	
5	パワープレス	1	再築	178,562	178,562	18,300	196,862	130,240	169,300	56,700	422,862	64,600	1,600,000	1,600,000	2,087,462	
6	パワープレス	1	復元	304,657	304,657	31,200	335,857	192,016	249,600	96,800	682,257	104,300	-	-	786,557	
7	パワープレス	1	復元	389,692	389,692	39,900	429,592	244,288	317,500	123,800	870,892	133,100	-	-	1,003,992	
8	パワープレス	1	復元	171,263	171,263	17,500	188,763	104,192	135,400	54,400	378,563	57,800	-	-	436,363	
9	パワープレス	1	復元	262,239	262,239	26,800	289,039	168,960	219,600	83,300	591,939	90,500	-	-	682,439	
10	天井走行クレーン	1	復元	526,456	526,456	53,900	580,356	213,840	277,900	167,300	1,025,556	156,800	-	-	1,182,356	
11	空気圧縮機	1	復元	17,546	17,546	1,700	19,246	12,496	16,200	5,500	40,946	6,200	-	-	47,146	
12	空気圧縮機	1	復元	12,682	12,682	1,200	13,882	9,152	11,800	4,000	29,682	4,500	-	-	34,182	
13	交流アーク溶接機	1	復元	6,706	6,706	600	7,306	4,224	5,400	2,100	14,806	2,200	-	-	17,006	
14	コンターマシン	1	復元	73,954	73,954	7,500	81,454	54,384	70,600	23,400	175,454	26,800	-	-	202,254	
15	フライス盤	1	復元	362,627	362,627	37,100	399,727	265,056	344,500	115,200	859,427	131,400	-	-	990,827	
16	シャーリングマシン	1	復元	243,011	243,011	24,900	267,911	149,952	194,900	77,200	540,011	82,500	-	-	622,511	
17	平面研削盤	1	復元	98,702	98,702	10,100	108,802	54,384	70,600	31,300	210,702	32,200	-	-	242,902	
18	普通旋盤	1	復元	210,427	210,427	21,500	231,927	130,240	169,300	66,800	468,027	71,500	-	-	539,527	
19	高圧受変電設備	1	復元	179,207	179,207	18,300	197,507	-	-	56,900	254,407	38,800	-	-	293,207	
20	動力配線設備	1	再築	1,112,135	1,112,135	113,900	1,226,035	-	-	353,400	1,579,435	241,400	-	-	1,820,835	
21	空気配管設備	1	再築	410,734	410,734	42,100	452,834	-	-	130,500	583,334	89,100	-	-	672,434	
	小 計			(4,997,504)	(4,997,504)	(511,100)	(5,508,604)	(2,017,664)	(2,621,800)	(1,587,300)	(9,717,704)	(1,484,700)	(1,600,000)	(1,600,000)	(12,802,404)	
	合 計			4,997,504	4,997,504	511,100	5,508,604	2,017,664	2,621,800	1,587,300	9,717,704	1,484,700	1,600,000	1,600,000	12,802,404	

機械設備算定内訳書（復元工事費又は再築工事費） 様式第3

番号	チェック項目	チェック内容		備 考
※1	番号	☐	機械番号に誤りはないか。（図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。）	
※2	機械名	☐	機械名に誤りはないか。（図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。）	
※3	数量	☐	数量に誤りはないか。（図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。）	
※4	機器別移転工法	☐	算定工法に誤りはないか。（復元、再築、除却等、その他作成調書等と一致しているか。）	
※5	直接工事費	☐	機械別工事費に誤りはないか。（機械設備直接工事費明細書で算出した工法の直接工事費（据付）が反映されているか。）	
※6		☐	計 欄は、上記工事費と数量の積となっているか。	
※7	共通仮設費	☐	直接工事費 計の合計値に対応した共通仮設費率（機械設備調査算定要領 別表2 共通仮設費率表による）となっているか。	前欄の最高額との比較
		☐	別途比較表にて、前欄の最高額との逆転現象について検証しているか。また、逆転現象となった場合の共通仮設費は正しく計上されているか。（別紙按分計算書の額と一致しているか。）	
		☐	端数処理は正しく行われているか。（100円未満切り捨て、但し100円未満の場合は1円未満切り捨て〔共通仕様書 数量等の処理〕）	
※8	純工事費	☐	直接工事費 計と共通仮設費率の和となっているか。	
※9	据付間接費	☐	該当機械 様式第5 直接工事費明細書の据付労務費（設備機械工）と数量の積となっているか。	
※10		☐	計 欄は、上記労務費に1.3(130%)を乗じた数値となっているか。	
※11	現場管理費	☐	純工事費に対応した現場管理費率（機械設備調査算定要領 別表3 諸経費率表による）となっているか。	前欄の最高額との比較
		☐	別途比較表にて、前欄の最高額との逆転現象について検証しているか。また、逆転現象となった場合の現場管理費は正しく計上されているか。（別紙按分計算書の額と一致しているか。）	
		☐	端数処理は正しく行われているか。（100円未満切り捨て、但し100円未満の場合は1円未満切り捨て〔共通仕様書 数量等の処理〕）	
※12	工事原価	☐	純工事費と据付間接費の計と現場管理費の和となっているか。	
※13	一般管理費等	☐	工事原価に対応した一般管理費等率（機械設備調査算定要領 別表3 諸経費率表による）となっているか。	

機械設備算定内訳書（復元工事費又は再築工事費） 様式第 3

番号	チェック項目	チェック内容		備 考
※13	一般管理費等	☐	別途比較表にて、前欄の最高額との逆転現象について検証しているか。また、逆転現象となった場合の現場管理費は正しく計上されているか。（別紙按分計算書の額と一致しているか。）	前欄の最高額との比較
		☐	端数処理は正しく行われているか。（100円未満切り捨て、但し100円未満の場合は1円未満切り捨て〔共通仕様書 数量等の処理〕）	
※14	機器等購入費	☐	単価の根拠となる見積比較表、カタログ等は添付されているか。金額に誤りはないか。	
		☐	配線設備を除く「再築」工法の機械について、購入費単価がきちんと計上されているか。また、購入費単価が計上されている機械の移転工法は「再築」となっているか。	
※15		☐	計 欄は、購入費単価と数量の積となっているか。	
※16	復元工事費又は再築工事費	☐	工事原価、一般管理費等、機器等購入費 計の和となっているか。	
※17	備考	☐	その他、特筆事項が表記されているか。	

機械設備算定内訳書（撤去費） 様式第 4

様式第 4

機 械 設 備 算 定 内 訳 書（撤去費）

※ 1
〔 再築工法 〕

※ 2 ※ 3 ※ 4

番号	機 械 名	数量 (A)	機器別 移転 工法 ※ 5	直接工事費		共通仮設費 ※ 8 $C \times 10.25\%$ (D)	純工事費 ※ 9 $C + D$ (E)	据付(撤去)間接費		現場管理費 ※ 12 $E \times 28.83\%$ (H)	工事原価 ※ 13 $E + G + H$ (I)	一般管理費等 ※ 14 $I \times 15.39\%$ (J)	撤去費 ※ 15 $I + J$ (K)	※ 16 備 考
				機械別 工事費 (B)※ 6	計 $A \times B$ (C)※ 7			設備機械工 A×撤去労務費 (F)※ 10	計 $F \times 130\%$ (G)※ 11					
1	スケヤーシャー	1	再築	108,239	108,239	11,000	119,239	-	-	34,300	153,539	23,600	177,139	
2	高速砥石切断機	1	再築	4,053	4,053	400	4,453	-	-	1,200	5,653	800	6,453	
3	スポット溶接機	1	再築	13,341	13,341	1,300	14,641	-	-	4,200	18,841	2,800	21,641	
4	直立ボール盤	1	再築	25,502	25,502	2,600	28,102	-	-	8,100	36,202	5,500	41,702	
5	パワープレス	1	再築	103,254	103,254	10,500	113,754	78,144	101,500	32,700	247,954	38,100	286,054	中古処分
6	パワープレス	1	再築	149,435	149,435	15,300	164,735	115,280	149,800	47,400	361,935	55,700	417,635	中古処分
7	パワープレス	1	再築	191,383	191,383	19,600	210,983	146,608	190,500	60,800	462,283	71,100	533,383	中古処分
8	パワープレス	1	再築	83,800	83,800	8,500	92,300	62,480	81,200	26,600	200,100	30,700	230,800	中古処分
9	パワープレス	1	再築	128,077	128,077	13,100	141,177	101,376	131,700	40,700	313,577	48,200	361,777	中古処分
10	天井走行クレーン	1	再築	171,702	171,702	17,500	189,202	-	-	54,500	243,702	37,500	281,202	
11	空気圧縮機	1	再築	8,428	8,428	800	9,228	7,568	9,800	2,600	21,628	3,300	24,928	中古処分
12	空気圧縮機	1	再築	6,132	6,132	600	6,732	5,456	7,000	1,900	15,632	2,400	18,032	中古処分
13	交流アーク溶接機	1	再築	1,936	1,936	100	2,036	-	-	500	2,536	300	2,836	
14	コンターマシン	1	再築	24,245	24,245	2,400	26,645	-	-	7,600	34,245	5,200	39,445	
15	フライス盤	1	再築	117,570	117,570	12,000	129,570	-	-	37,300	166,870	25,600	192,470	
16	シャーリングマシン	1	再築	86,003	86,003	8,800	94,803	-	-	27,300	122,103	18,700	140,803	
17	平面研削盤	1	再築	36,445	36,445	3,700	40,145	-	-	11,500	51,645	7,900	59,545	
18	普通旋盤	1	再築	74,116	74,116	7,500	81,616	-	-	23,500	105,116	16,100	121,216	
19	高圧受変電設備	1	再築	56,498	56,498	5,700	62,198	-	-	17,900	80,098	12,300	92,398	
20	動力配線設備	1	再築	134,880	134,880	13,800	148,680	-	-	42,800	191,480	29,400	220,880	
21	空気配管設備	1	再築	58,311	58,311	5,900	64,211	-	-	18,500	82,711	12,700	95,411	
	小 計			(1,583,350)	(1,583,350)	(161,100)	(1,744,450)	(516,912)	(671,500)	(501,900)	(2,917,850)	(447,900)	(3,365,750)	
	合 計			1,583,350	1,583,350	161,100	1,744,450	516,912	671,500	501,900	2,917,850	447,900	3,365,750	

機械設備算定内訳書（撤去費） 様式第4

番号	チェック項目	チェック内容		備考
※1	移転工法	☐	移転工法に誤りはないか。（直接工事費で採用している額が様式第5の記載工法欄の額と一致しているか。）	
※2	番号	☐	機械番号に誤りはないか。（図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。）	
※3	機械名	☐	機械名に誤りはないか。（図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。）	
※4	数量	☐	数量に誤りはないか。（図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。）	
※5	機器別移転工法	☐	算定工法に誤りはないか。（復元、再築、除却等、その他作成調書等と一致しているか。）	
※6	直接工事費	☐	機械別工事費に誤りはないか。（機械設備直接工事費明細書で算出した工法の直接工事費（撤去）が反映されているか。）	
※7		☐	計 欄は、上記工事費と数量の積となっているか。	
※8	共通仮設費	☐	直接工事費 計の合計値に対応した共通仮設費率（機械設備調査算定要領 別表2 共通仮設費率表による）となっているか。	
		☐	別途比較表にて、前欄の最高額との逆転現象について検証しているか。また、逆転現象となった場合の共通仮設費は正しく計上されているか。（別紙按分計算書の額と一致しているか。）	前欄の最高額との比較
		☐	端数処理は正しく行われているか。（100円未満切り捨て、但し100円未満の場合は1円未満切り捨て〔共通仕様書 数量等の処理〕）	
※9	純工事費	☐	直接工事費 計と共通仮設費率の和となっているか。	
※10	撤去間接費	☐	該当機械 様式第5 直接工事費明細書の撤去労務費（設備機械工）と数量の積となっているか。	
※11		☐	計 欄は、上記労務費に1.3(130%)を乗じた数値となっているか。	
※12	現場管理費	☐	純工事費に対応した現場管理費率（機械設備調査算定要領 別表3 諸経費率表による）となっているか。	
		☐	別途比較表にて、前欄の最高額との逆転現象について検証しているか。また、逆転現象となった場合の現場管理費は正しく計上されているか。（別紙按分計算書の額と一致しているか。）	前欄の最高額との比較
		☐	端数処理は正しく行われているか。（100円未満切り捨て、但し100円未満の場合は1円未満切り捨て〔共通仕様書 数量等の処理〕）	
※13	工事原価	☐	純工事費と撤去間接費の計と現場管理費の和となっているか。	

機械設備算定内訳書（撤去費） 様式第 4

番号	チェック項目	チェック内容		備 考
※14	一般管理費等	☐	工事原価に対応した一般管理費等率（機械設備調査算定要領 別表3 諸経费率表による）となっているか。	
		☐	別途比較表にて、前欄の最高額との逆転現象について検証しているか。また、逆転現象となった場合の現場管理費は正しく計上されているか。（別紙按分計算書の額と一致しているか。）	前欄の最高額との比較
		☐	端数処理は正しく行われているか。（100円未満切り捨て、但し100円未満の場合は1円未満切り捨て〔共通仕様書 数量等の処理〕）	
※15	撤去費	☐	工事原価、一般管理費等の和となっているか。	
※16	備考	☐	中古処分またはスクラップに誤りはないか。中古処分の場合その旨記載されているか。その他、特筆事項が表記されているか。	

様式第5

機械設備直接工事費明細書

※1

※2

番 号	1	機 械 名	スケヤーシャー
-----	---	-------	---------

項 目	内 訳	仕 様	単位	単 価	復 元		再 築		※11 備 考
					数 量	金 額	数 量	金 額	
※3	①据付費	設備機械工	人	17,600	10.65	187,440	10.65	187,440	コード〇〇
		普通作業員	人	13,900	1.18	16,402	1.18	16,402	コード〇〇
		（据付労務費 計）	= a			(203,842)		(203,842)	
		仮設費	式			-		-	
※4	②機械基礎費	基礎工事費	式	48,800	1.00	48,800	1.00	48,800	機械代価表 第 1 号
		基礎ボルト	M-12×300L	本	52	4.00	208	208	建設物価 P.00
※5	③運搬費	復元運搬費	運搬車10 t	台	20,500	0.32	6,560	-	コード〇〇
		持込輸送費		台		-		-	
※6	④直接経費	総合試運転費	式			-		-	
		電力料等	1.50×4Hr	KWH	15	6.00	90	-	電力供給規定
		機械経費	a × 2%	式	1.00	4,076	1.00	4,076	
※7	⑤補修費等	復元のみ	a × 20%	式	1.00	40,768	-	-	
※8	⑥材料その他		式			-		-	
直接工事費（据付） 計						304,344		256,926	
※9	⑦撤去費	設備機械工	人	17,600	6.39	112,464	4.26	74,976	コード〇〇
		普通作業員	人	13,900	0.71	9,869	0.47	6,533	コード〇〇
		（撤去労務費 計）	= b			(122,333)		(81,509)	
		仮設費	式			-		-	
※10	⑧基礎撤去費		式	25,100	1.00	25,100	1.00	25,100	機械代価表 第 1 号
※6	⑨直接経費	機械経費	b × 2%	式	1.00	2,446	1.00	1,630	
※7	⑩補修費等	復元のみ	b × 20%	式	1.00	24,466	-	-	
※8	⑪材料その他		式			-		-	
直接工事費（撤去） 計						174,345		108,239	

機械設備算定内訳書（直接工事費明細書） 様式第 5

番号	チェック項目	チェック内容		備考
※ 1	番号	☐	機械番号に誤りはないか。（図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。）	
※ 2	機械名	☐	機械名に誤りはないか。（図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。）	
※ 3	据付費	☐	必要項目が計上されているか。計上漏れはないか。必要に応じて仮設費は計上されているか。	
		☐	復元、再築の数量は、 機械設備据付工数等計算書 で算出された数値が正しく記載されているか。	
		☐	内訳、仕様の記載事項、及び単価、計算に誤りはないか。	
※ 4	機械基礎費	☐	必要に応じて根拠となる代価表、図面等を正しく作成しているか。（機械基礎図等）	
		☐	根拠となる代価表は図面等に基づき適切に積み上げ算定されているか。	
		☐	内訳、仕様、単位の記載が根拠資料に基づき正しく記載されているか。	
		☐	単価、計算に誤りはないか。	
※ 5	運搬費	☐	復元に運搬費が計上されているか。	
		☐	数量は、 機械設備運搬台数計算書 で算出された数値が正しく記載されているか。	
		☐	内訳、仕様の記載事項、及び単価、計算に誤りはないか。	
※ 6	直接経費	☐	必要な経費が計上されているか。（総合試運転費、電力料等）	
		☐	機械経費率（2%）は正しく計上されているか。	
		☐	内訳、仕様の記載事項、及び単価、計算に誤りはないか。	
※ 7	補修費等	☐	計上は復元のみとなっているか。	
		☐	補修費率（20%）は正しく計上されているか。	
		☐	内訳、仕様の記載事項、及び単価、計算に誤りはないか。	
※ 8	材料その他	☐	必要に応じて材料その他の費用が正しく計上されているか。	
※ 9	撤去費	☐	必要項目が計上されているか。計上漏れはないか。必要に応じて仮設費は計上されているか。	
		☐	復元、再築の数量は、 機械設備据付工数等計算書 で算出された数値が正しく記載されているか。	
		☐	内訳、仕様の記載事項、及び単価、計算に誤りはないか。	
※10	基礎撤去費	☐	必要に応じて根拠となる代価表、図面等を正しく作成しているか。（機械基礎図等）	
		☐	根拠となる代価表は図面等に基づき適切に積み上げ算定されているか。	
		☐	内訳、仕様、単位の記載が根拠資料に基づき正しく記載されているか。	
		☐	単価、計算に誤りはないか。	
※11	備考	☐	コード番号、代価表番号、資料ページ等必要な情報が正しく記載されているか。	

機械設備算定内訳書（据付工数等計算書）様式第6

[illegible]

[illegible]

機械設備算定内訳書（運搬台数計算書）様式第7

[illegible]

様式第 8

※1 ※2 機 械 設 備 見 積 比 較 表

番号	機 械 名	見 積 業 者 名 及 び 見 積 金 額 (円)		※5 採用金額(円)	備 考
1	スケヤーシャー	※3 ㈱○○精機 2,950,000	※4 ㈱○○鉄工 3,100,000	2,950,000	
2	高速砥石切断機	㈱○○精機 470,000	㈱○○鉄工 510,000	470,000	
3	スポット溶接機	㈱○○精機 730,000	㈱○○鉄工 780,000	730,000	
4	直立ボール盤	㈱○○精機 2,800,000	㈱○○鉄工 2,950,000	2,800,000	
5	パワープレス	㈱○○プレス 1,600,000	○○精工㈱ 1,750,000	1,600,000	
6	パワープレス	㈱○○プレス 4,800,000	○○精工㈱ 5,000,000	4,800,000	
7	パワープレス	㈱○○プレス 7,500,000	○○精工㈱ 7,800,000	7,500,000	
8	パワープレス	㈱○○プレス 950,000	○○精工㈱ 1,050,000	950,000	
9	パワープレス	㈱○○プレス 3,600,000	○○精工㈱ 3,800,000	3,600,000	
10	天井走行クレーン	㈱○○○○ 2,500,000	㈱○○○○ 2,700,000	2,500,000	
11	空気圧縮機	㈱○○空気機械 980,000	○○鉄工所 1,100,000	980,000	
12	空気圧縮機	○○鉄工所 360,000	㈱○○空気機械 385,000	360,000	
13	交流アーク溶接機	㈱○○○○ 145,000	㈱○○○○ 155,000	145,000	
14	コンターマシン	㈱○○製作所 1,450,000	○○工機㈱ 1,550,000	1,450,000	
15	フライス盤	㈱○○製作所 5,200,000	○○工機㈱ 5,400,000	5,200,000	
16	シャーリングマシン	㈱○○製作所 1,860,000	○○工機㈱ 1,950,000	1,860,000	
17	平面研削盤	㈱○○製作所 2,450,000	○○工機㈱ 2,600,000	2,450,000	
18	普通旋盤	㈱○○製作所 2,800,000	○○工機㈱ 3,100,000	2,800,000	
19	高圧受変電設備	○○電気㈱ 2,920,000	㈱○○電工 3,100,000	2,920,000	
20	動力配線設備				
21	空気配管設備				

[illegible]

機械設備算定内訳書（復元・再築認定）

復元・再築認定（経済比較）

※1 番号	※2 機 械 名	※3 数量 (A)	復元工事費			※7 休止 日数 (E)	※8 計 (F) A×(B+C+D×E)	※9 再築工事費 (G)	※10 補償率 (H)	※11 再築費 (I)	※12 再築工事費 撤去費 (J)	※13 営業補償 (K)	※14 休止 日数 (L)	※15 売却価格 (M)	※16 計 A×(I+J+K×L-M)	※17 採用工法
			※4 復元費 (B)	※5 撤去費 (C)	※6 営業補償 (D)											
1	スケヤシャー	1	779,044	453,745	50,000	4.00	1,432,789	3,652,026	62.2%	2,271,560	177,139	-	-	6,400	2,442,299	復元
2	高速砥石切断機	1	34,414	19,934	50,000	0.20	64,348	500,185	68.3%	341,626	6,453	-	-	320	347,759	復元
3	スポット溶接機	1	112,229	65,666	50,000	0.60	207,895	829,572	74.2%	615,542	21,641	-	-	600	636,583	復元
4	直立ボール盤	1	214,717	127,130	50,000	1.20	401,847	2,991,746	42.4%	1,268,500	41,702	-	-	1,400	1,308,802	復元
5	パワープレス	1	540,679	313,845	50,000	3.00	1,004,524	2,087,862	42.4%	885,253	286,054	-	-	308,000	863,307	再築
6	パワープレス	1	786,557	458,220	50,000	5.00	1,494,777	5,507,303	42.4%	2,335,096	417,635	-	-	924,000	1,828,731	復元
7	パワープレス	1	1,003,992	584,962	50,000	6.00	1,888,954	8,402,199	62.2%	5,226,167	533,383	-	-	2,133,750	3,625,800	復元
8	パワープレス	1	436,363	252,908	50,000	2.00	789,271	1,344,525	71.3%	958,646	230,800	-	-	314,450	874,996	復元
9	パワープレス	1	682,439	397,431	50,000	4.00	1,279,870	4,213,101	71.3%	3,003,941	361,777	-	-	1,191,600	2,174,118	復元
10	天井走行クレーン	1	1,182,356	659,466	50,000	2.40	1,961,822	3,917,257	65.3%	2,557,968	281,202	-	-	3,600	2,835,570	復元
11	空気圧縮機	1	47,146	27,580	50,000	0.10	79,726	1,021,380	74.2%	757,863	24,928	-	-	339,080	443,711	復元
12	空気圧縮機	1	34,182	19,934	50,000	0.10	59,116	390,185	74.2%	289,517	18,032	-	-	124,560	182,989	復元
13	交流アーク溶接機	1	17,006	8,944	50,000	0.01	26,450	158,733	79.8%	126,668	2,836	-	-	120	129,384	復元
14	コンターマシン	1	202,254	119,214	50,000	0.60	351,468	1,630,752	74.2%	1,210,017	39,445	-	-	1,300	1,248,162	復元
15	フライス盤	1	990,827	583,864	50,000	3.00	1,724,691	6,079,794	62.2%	3,781,631	192,470	-	-	10,000	3,964,101	復元
16	シャーリングマシン	1	622,511	361,987	50,000	1.70	1,069,498	2,421,228	65.3%	1,581,061	140,803	-	-	4,800	1,717,064	復元
17	平面研削盤	1	242,902	139,114	50,000	0.60	412,016	2,671,300	59.1%	1,578,738	59,545	-	-	1,300	1,636,983	復元
18	普通旋盤	1	539,527	313,145	50,000	1.50	927,672	3,286,678	62.2%	2,044,313	121,216	-	-	4,000	2,161,529	復元
19	高圧受変電設備	1	293,207	144,964	50,000	3.00	588,171	3,174,301	20.0%	634,860	92,398	-	-	-	727,258	復元
20	動力配線設備	1	-	-	-	-	-	1,822,435	42.4%	772,712	220,880	-	-	-	993,592	再築
21	空気配管設備	1	-	-	-	-	-	673,034	42.4%	285,366	95,411	-	-	-	380,777	再築
営業補償	補償項目	単位	基礎額	1日あたり補償額		※復元工法の機器等は営業補償を含む。					基礎額		1日あたり補償額		※再築しても休止日数が生じる場合に計上する。	
	収益減補償額	365日	1,100,000	3,013	50,000	※1台毎の復元に要する日数は、見積書による。					1,100,000	3,013	50,000			
	固定的経費の補償額	365日	7,550,000	20,684		※No.20～No.21は復元不可。					7,550,000	20,684				
	休業（人件費）補償額	30日	790,000	26,333		※得意先喪失補償は、経済比較の対象外とする。					790,000	26,333				

機械設備算定内訳書（復元・再築認定）

[illegible]

機 械 設 備 代 価 表

※1 代価番号	※2 項 目 名 称	※3 単 位	※4 機械 No.	※5 機 械 名	※6 備 考
第1号	基礎工事費・基礎撤去費	式	1	スケヤージャー	

※7 出典 (コード番号)	※8 単価名称	※9 仕様・形状寸法	※10 単位	※11 単 価	※12 数 量	※13 金 額	備 考
<基礎工事費>							
〇〇〇〇	やりかた	小規模・複雑	建m2	410	3.25	1,332	
〇〇〇〇	根切り（機械）	小規模・深さ=3.0m以内	m3	1,530	4.03	6,165	
〇〇〇〇	割石地業	割石・厚15cm	m3	8,560	0.61	5,221	
〇〇〇〇	捨てコンクリート	18N/mm2・シュート打設	m3	13,300	0.20	2,660	
〇〇〇〇	型枠	木造建物・工作物基礎	m2	2,580	2.28	5,882	
〇〇〇〇	コンクリート	21N/mm2・シュート打設・小型構造物	m3	15,900	0.98	15,582	
〇〇〇〇	鉄筋・加工組立	簡易・5t未満	kg	85	79.95	6,795	
〇〇〇〇	不用土処分	構内敷きならし	m3	340	1.78	605	
〇〇〇〇	埋戻し（機械）	現場内仮置場土使用・運搬20～30m・突固め共	m3	2,070	2.24	4,636	
						(48,878)	
						48,800	
<基礎撤去費>							
〇〇〇〇	根切り（機械）	小規模・深さ=3.0m以内	m3	1,530	1.44	2,203	
〇〇〇〇	コンクリート解体	工作物等・有筋・機械こわし・積込共	m3	16,000	0.98	15,680	
〇〇〇〇	埋戻し（機械）	現場内仮置場土使用・運搬20m～30m・突固め共	m3	2,070	1.44	2,980	
〇〇〇〇	埋戻し（機械）	購入土使用	m3	4,350	0.98	4,263	
						(25,126)	
						25,100	
計							
補償単価							

[illegible]

機 械 設 備 数 量 計 算 書

※1 代価番号	※2 項 目 名 称	※3 単 位	※4 機械 No.	※5 機 械 名	※6 備 考
第1号	基礎工事費・基礎撤去費	式	1	スクヤーシャー	

※7 単 価 名 称	※8 仕 様 ・ 形 状 寸 法	※9 計 算 式	※10 小 計	※11 計	※12 単 位
<基礎工事費>					
やりかた	小規模・複雑	2.50*1.30	3.250	3.25	建m2
根切り(機械)	小規模・深さ=3.0m以内	$(2.50+0.5*2)*(1.30+0.5*2)*0.50$	4.025	4.03	m3
割石地業	割石・厚15cm	$(2.50+0.20)*(1.30+0.20)*0.15$	0.607	0.61	m3
捨てコンクリート	18N/mm2・シート打設	$(2.50+0.20)*(1.30+0.20)*0.05$	0.202	0.20	m3
型枠	木造建物・工作物基礎	$(2.50+1.30)*2*0.30$	2.280	2.28	m2
コンクリート	21N/mm2・シート打設・小型構造物	$2.50*1.30*0.30$	0.975	0.98	m3
鉄筋・加工組立	簡易・5t未満	$0.975*82$	79.950	79.95	kg
不用土処分	構内敷きならし	$0.607+0.202-2.50*1.30*0.30$	1.784	1.78	m3
埋戻し(機械)	現場内仮置場土使用・運搬20m～30m・突固め共	$4.025-1.784$	2.241	2.24	m3
<基礎撤去費>					
根切り(機械)	小規模・深さ=3.0m以内	$(2.50+0.5*2)*(1.30+0.5*2)*0.3-2.5*1.3*0.3$	1.440	1.44	m3
コンクリート解体	工作物等・有筋・機械こわし・積込共	$2.50*1.30*0.30$	0.975	0.98	m3
埋戻し(機械)	現場内仮置場土使用・運搬20m～30m・突固め共	1.440	1.440	1.44	m3
埋戻し(機械)	購入土使用	$2.50*1.30*0.30$	0.975	0.98	m3

機械設備算定内訳書（数量計算書）

[illegible]

令和 4 年 2 月 2 日

見積依頼書

※1

〇〇株式会社 殿

※2

株式会社四門

代表取締役 宝土 大亮

〒131-0034 東京都墨田区堤通 1-19-9

リバーサイド隅田 16 階

TEL 03-6661-8834 FAX 03-6661-8836

担当 〇〇 〇〇

E-mail:

※3

下記のとおり、見積書の提出をお願いいたします。

記

※4

1. 見積書宛名 株式会社四門

※5

2. 受渡し場所 〇〇県△△市

※6

3. 見積依頼する機械の名称・規格等

1)

機器名：1 連式自動充填機

型 式：151U

2)

機器名：2 連式自動充填機

型 式：S251U 製造番号：19846 19848

4. 見積事項、見積条件

(1) 下記の項目について、必ず見積書へ記載をお願いします。

(見積の必要がないもの又は出来ないものについては、その理由等を記載してください。)

※7 ① 機器等の購入費（新品価格）

（新品価格は、一般管理費等を含む販売価格とし、二次側*の配線・配管・装置等も含める。）

*二次側とは、当該機器が電力の消費を行うための装置等（動力盤等）から当該機器側をいう。

※8 ② 質量（1台あたり）（二次側の配線・配管・装置等の質量は除く。）

※9 ③ 中古品売却価格

※10 ④ 消費税等

※11 ⑤ 総合試運転費

※12 ⑥ 特別管理産業廃棄物（廃油、廃PCB等）の処分費

※13 ⑦ その他雑費（材料費、仮設費等）

※14 ⑧ 移転工期（下記□の項目について記載をお願いします。）

新設の工期

掘付工期

基礎作成工期

復元（移設）の工期

掘付工期

基礎作成工期

運搬に要する工期

車上渡し

現場持込み

復元運搬

撤去の工期

撤去工期（スクラップ）

撤去工期（復元（移設）又は中古品売却）

基礎撤去工期

※15

（2） 現在、同一の機械が製造等されていない場合は、代替機械の見積りとしてください。

その場合、代替とする理由、上記規格等との相違点等を見積書に記載し、規格等が記載された製品カタログ等の添付をお願いします。

※16

5. 添付資料

① 機械設備調査表

② 機械設備位置図

③ 写真台帳

機械設備算定内訳書（見積依頼書）

[illegible]

機械設備の補償額算定に係る要点事項

※5

機械番号№4

事業名		〇〇〇〇用地調査等業務			
被補償者名		〇〇株式会社			
建物移転工法		構外移転工法			
		※5 補償対象	※6	見積り	
※1 製造メーカー等の名称		株式会社協和自動機	株式会社協和自動機	高吉産業設備株式会社	
※2 専門メーカー等の選定理由			対象機械の取り扱い及び取引は可能とことが確認出来たことから、適正な依頼先として選定。	対象機械の取り扱い及び取引は可能とことが確認出来たことから、適正な依頼先として選定。	
移設の可否に関する専門メーカー等の意見			移設は可能。	移設は可能。	
機械設備等	名称	2連充填機	ダブル充填機	ダブル充填機	
	型式等	KMTS-5000型	KMTS-5000型	KMTS-5000型	
	規格	KTS-11型	KTS-11型	KTS-11型	
	機能	MY-1CD型	MY-1CD型	MY-1CD型	
※3 「同種同等」「機能が最も近似」と判断した理由等			補償対象機械の型式名、図面等を提供して見積を依頼しており、見積書にも同機の仕様・容量等が記載されていることから同一の機械である。	補償対象機械の型式名、図面等を提供して見積を依頼しており、見積書にも同機の仕様・容量等が記載されていることから同一の機械である。	
見積時点			令和4年2月	令和4年2月	
見積価格			30,900,000	34,000,000	
経済指標名 及び 時点修正率		—	—	—	—
時点修正後の取得価格		—			
※4 見積書の検証結果			見積書の記載事項に誤りや不明確な点は無い。見積書は補償対象の機械と同一のものであり、他社と価格差が少ないことから、価格は妥当である。	見積書の記載事項に誤りや不明確な点は無い。見積書は補償対象の機械と同一のものであり、他社と価格差が少ないことから、価格は妥当である。	

機械設備算定内訳書（見積検証）

[illegible]

※1

調査先名：プレス工場

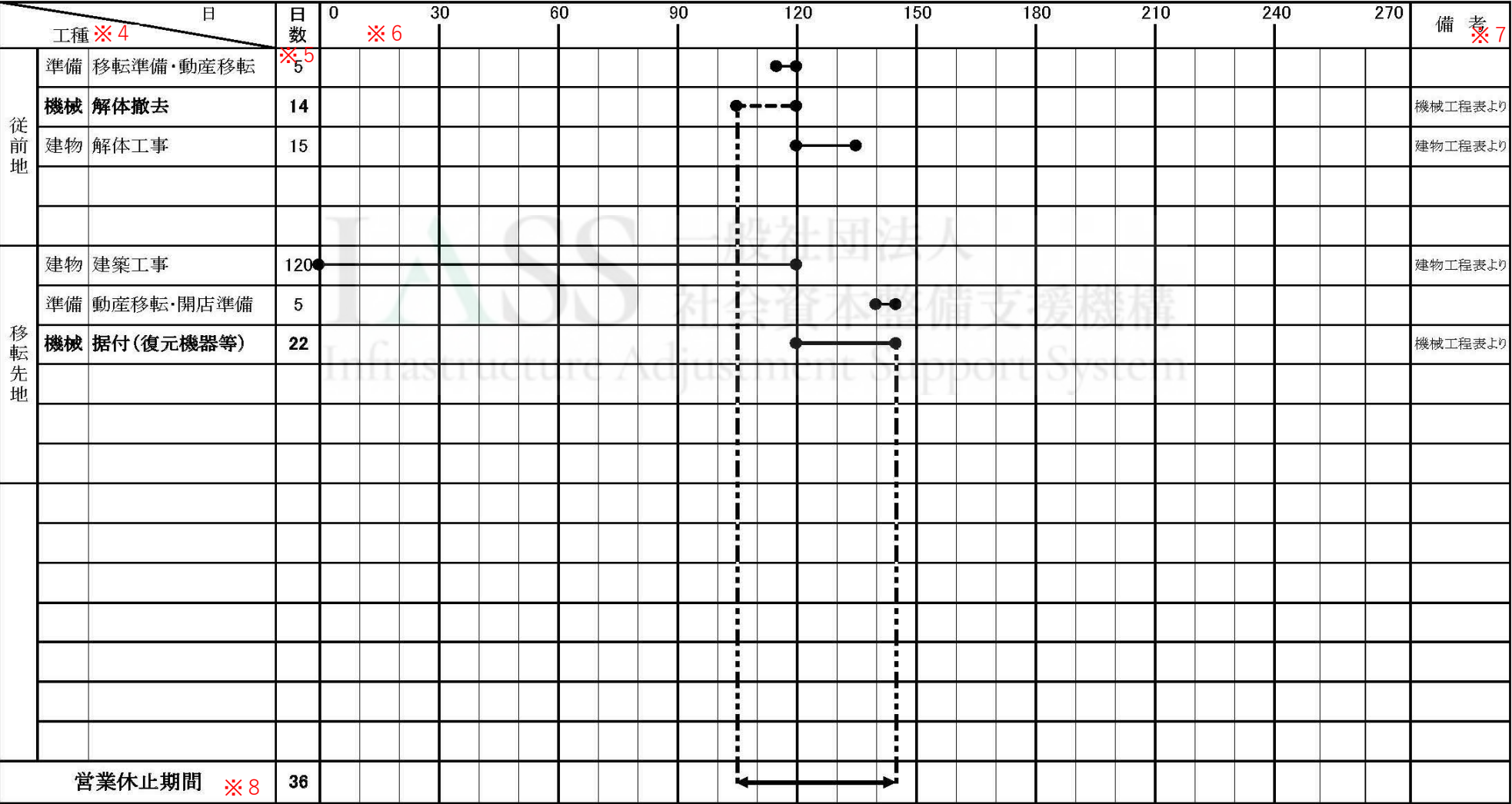
※2

所在地：

移 転 工 程 表

※3

構外再築工法：機械設備復元工法〔一部再築〕



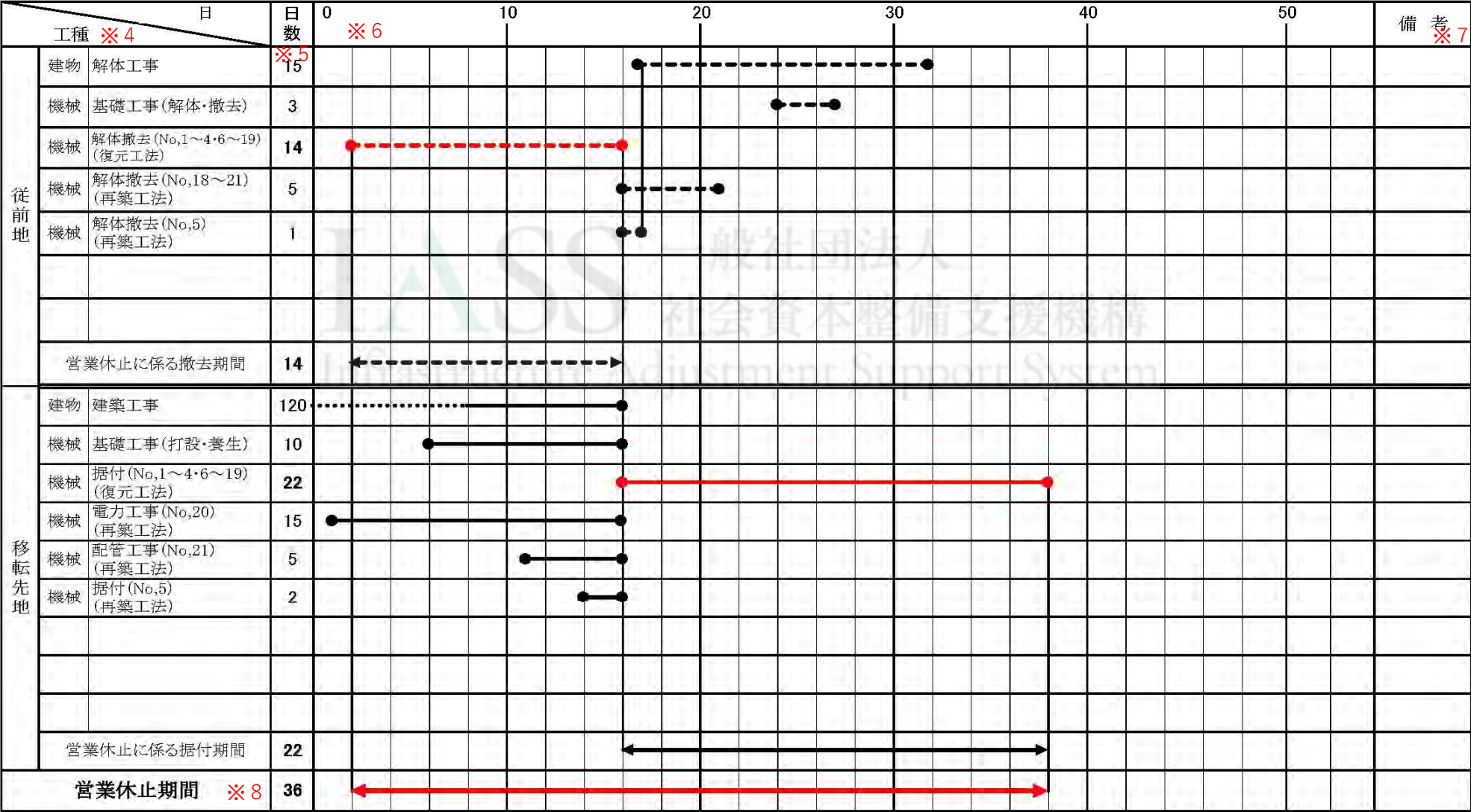
機械設備算定内訳書（復元・再築認定）

[illegible]

※9
機 械 設 備 移 転 工 程 表

※1 調査先名：プレス工場
※2 所在地：

※3 構外移転:機械設備復元工法〔一部再築〕



機械設備算定内訳書（復元・再築認定）

[illegible]